



(1) 総持学園

関東大震災翌年の1924（大正13）、曹洞宗大本山總持寺を開いた瑩山禪師の600回大遠忌を記念し、光華女学校（現・鶴見大学付属中学・高等学校）として発足した。2024年に創立100周年を迎える。鶴見大学は1953年、鶴見女子短期大学としてスタート。63年に鶴見女子大学となり、70年に歯学部設置。73年、歯学部の男女共学化を受けて鶴見大学に名称を変更した。

(2) 共用試験

臨床実習を行う上で必要となる歯学や歯科治療に関する知識、技術、コミュニケーション能力、態度を評価するための試験。歯科医師育成に携わる全国の歯学部が試験問題を作成し、共有して実施している。臨床実習開始前に習得すべき知識をCBT（Computer Based Testing）で、態度・技能をOSCE（Objective Structured Clinical Examination）で評価する。2024年から「公的化」が図られ、歯科医師法で定めた公的試験となる。これまで試験の可否判定は各大学に委ねられていたが、統一合格基準の設定が検討されている。

(3) 短期集中カリキュラム

1～4年生の1年間の学習カリキュラムを前期2期、後期3期に分け、1科目につき7週（1期）で14コマをこなす。一つのテーマを短期間で集中して学ぶ一方、年度末の第5期を総復習の期間に充て、前・後期で学んだ全科目について知識の定着を図る。

(4) チューター制

学生数人に対して、教員1人を「担任」として割り当て、学生の成績をもとに、一人一人に合った勉強方法や、苦手分野の克服法をアドバイスするなど、きめ細かい指導で効率的な知識と能力の定着を図る。スケジュールや健康面の管理にも気を配り、学生が気軽に相談できる雰囲気も心がけられている。

その理由は、建学の精神でもある「感謝のこころ」をよりどころにした徹底した「患者本位」の姿勢です。その心構えをプロの流儀として学生に身につけてもらうのが鶴見大学の教育哲学です。

「1年目の教育をととも重視しています。歯科医師になるために必要な資質とは何か、どんな勉強をしなればいけないか、あるいは自分自身が6年間をどう過ごすべきなのかなどについて、半年かけてみっちり教育します」（大久保歯学部部長）

ただ「教え込む」のではなく、AL（アクティブラーニング）の手法を用い、小グループを作って治療見学をしたり、歯科医療に関する情報をもとに学生同士の話し合いの中で答えを導かせるようにしています。

また、入学してすぐの5月には、總持寺に泊まり込んで坐禅を組み、僧侶から感謝することの大切さなどを学ぶ「新入生本山参禅会」（現在はコロナ対策で日帰り実施）を開いています。仏教系大学ならではのユニークな取り組みといえます。

「米国では医師や歯科医師になるには4年制大学を卒業してから専門の医・歯学部に入学する必要があると思います。しっかりとした教養を身につけていることが医療者を目指す資格と考えられているからです。本学でも編入生として入ってくる学生は高いモチベーションがあり、留年率が低く国家試験の合格率も高いです。学年のリーダー的存在となってくれ

新入生特待奨学生制度

Information

鶴見大学歯学部は 学び意欲の高い受験生を 応援します。

一般選抜（個別選抜型）1期の成績上位**20名**が対象
最高**350万円（学納金全額）**免除

初年度学納金より1～3位までは350万円（全額免除）、4～10位までは200万円、11～20位までは100万円をそれぞれ免除します。
※個別選抜型1期は特待生選抜試験を兼ねています。詳細はホームページ等をご確認ください。

新入生特待奨学生チャレンジ制度ができました
指定校推薦1・2期、総合型選抜1・2・3期で合格した方は、合格を維持したまま特待生選抜試験（個別選抜型1期）を受験して、新入生特待奨学生を目指すことができます。
（小論文・面接は免除、検定料無料、試験日1月24日）

在学生の奨学生制度もあります
歯学部特待生…2年次～6年次を対象に前年度の成績により学納金の一部免除されます。
1～3位200万円、4～10位100万円（2年生のみ11～30位50万円）を免除

その結果、これまで鶴見大学は新卒で75%以上の合格率だったわけですが、その後の新卒合格率の平均は64・6%と大きく落ち込むことになりました。しかも、昨年は全国平均を上回り、その要因の一つに挙げられるのが、19年度に導入した「短期集中型カリキュラム^①」の効果です。それまで1科目を14週かけて学んでいたのを半分の7週でこなす方式に変えました。

「1年生から新カリキュラムで教育を受けている今（23年度）の5年生は、臨床実習のための共用試験で高得点を取る人が増えました。共用試験の成績は国家試験と相関関係があることが分かっています」と、大久保歯学部部長は教育改革の手応えを感じています。

さらに学生の力を底上げしているのが、一人ひとりに目配りをしたきめ細かなフォローアップです。教員1人が少数の学生を受け持つ「チューター制^②」を取り入れているほか、問題演習や定期試験では学生の解答をデータ化し、得意・不得

意分野を解析してフィードバックしています。また、教員が授業の合間を縫って学生の相談に応じる「オフィスアワー」の時間を確保し、学習面に限らず人間関係や進路など、多様な悩みも真剣に耳を傾けています。

**特待奨学生制度で学生を支援
ダイバーシティ推進の効果も**

手厚い対応という意味では、大学への「入り口」も注目です。鶴見大学では入学前教育を重視しており、計3回の入学前オリエンテーションを実施し、歯学教育の概要を事前に把握するとともに、入学後の学習方法や学生生活を手厚く指導しています。また、入学前授業により、歯学教育で必要とされる理数系科目の基本を学ぶことができます。

また、22年度より始めた「特待奨学制度」では、新入生の初年度学納金全額（350万円）免除だけでなく、他大学を経て歯学部に入学者も編入生に対しても大幅な学納金（200万円）免除により経済的支援を実施しています。

「米国では医師や歯科医師になるには4年制大学を卒業してから専門の医・歯学部に入学する必要があると思います。しっかりとした教養を身につけていることが医療者を目指す資格と考えられているからです。本学でも編入生として入ってくる学生は高いモチベーションがあり、留年率が低く国家試験の合格率も高いです。学年のリーダー的存在となってくれ

**短期集中カリキュラムで
国試の合格率も大幅に上昇**

そうして育て上げた「歯医者の卵」にとって最大の難関は歯科医師国家試験です。創立以来、5959名の卒業生を世に送り出してきましたが、卒業生のうちの国家試験合格者は5816名ですので、累計の国

家試験合格率は97・6%となり、鶴見大学はこれまで高い卒業率、国家試験合格率を堅持してきました。ところが、歯科医師国家試験はちよつどの10年間で劇的に変化しました。それまで2400名ほどであった合格者が一気に約2000名に削減され、合格率も全国歯学部全体で65%以下に引き下げられました。

その結果、これまで鶴見大学は新卒で75%以上の合格率だったわけですが、その後の新卒合格率の平均は64・6%と大きく落ち込むことになりました。しかも、昨年は全国平均を上回り、その要因の一つに挙げられるのが、19年度に導入した「短期集中型カリキュラム^①」の効果です。それまで1科目を14週かけて学んでいたのを半分の7週でこなす方式に変えました。

意分野を解析してフィードバックしています。また、教員が授業の合間を縫って学生の相談に応じる「オフィスアワー」の時間を確保し、学習面に限らず人間関係や進路など、多様な悩みも真剣に耳を傾けています。

**特待奨学生制度で学生を支援
ダイバーシティ推進の効果も**

手厚い対応という意味では、大学への「入り口」も注目です。鶴見大学では入学前教育を重視しており、計3回の入学前オリエンテーションを実施し、歯学教育の概要を事前に把握するとともに、入学後の学習方法や学生生活を手厚く指導しています。また、入学前授業により、歯学教育で必要とされる理数系科目の基本を学ぶことができます。

多様性推進の観点からは女性比率の上昇にも力を入れています。学生の男女比を現在の6対4から5対5にすることを目指しています。23年度には長らくいなかった女性教授が2人就任しました。教員の男女比を是正していくことも求められています。

「歯科医師は産休・育休によるプランクが多少あってもすぐに復帰できます。女性が活躍でき、輝ける職業だと思えます。世間では「歯科医師過剰」と宣伝されることがありますが、実際は歯科医師が足りないのが現状で、大学への求人倍率は一時3～4倍程度だったのが8～10倍になっています。特に今、周術期（手術前後の時期）の口腔ケアによって、重症患者さんらの入院期間が短くなることで明らかに、総合病院などでは歯科医師のニーズが高いのですが、十分応えられていません。歯科の訪問診療では患者4人のうち1人しか対応できない状況も生まれています」

歯科医療でもAI（人工知能）やロボットの活用によるイノベーションが目指されています。それだけに、鶴見大学の目指す患者の痛み、苦しみに寄り添える人間味にあふれた歯科医師の養成は、社会にとって喫緊の課題と言えるのです。



おおくぼ ひろし
大久保力廣歯学部部長
1986年鶴見大学歯学部卒業。90年同大学大学院歯学研究科卒業。ペイラー歯科大学、ウルグアイ大学歯学部の客員研究員などを経て、2009年鶴見大学歯学部教授。論文、受賞歴多数。

鎌倉時代に道元禪師が福井県に創建した永平寺と並んで、曹洞宗の大本山とされるのが、四代目の瑩山禪師が開いた總持寺です。その總持寺を母体とする学校法人總持学園のもと、禪の教えに基づいて感謝、報恩の心を養う「大覚円成 報恩行持」を建学の精神として、教育を行っているのが鶴見大学です。

キャンパスがある横浜市は幕末に米国人歯科医のW・C・イーストレーキが医院を開業し、日本人に歯科技術を広めたことから、近代西洋歯科医学“発祥の地”とされます。由緒ある地に1970年、鶴見大学歯学部は開設され、一貫して「臨床の鶴見」と高い評価を得てきました。AI時代にこそ求められる患者に寄り添う優れた歯科医養成の重要性を大久保力廣歯学部長に聞きました。

鶴見大学歯学部

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3 入試センター事務局 TEL 045-580-8219 <https://www.tsurumi-u.ac.jp/>

「OBや近隣の歯科医の先生、大勢の方々にお集まりいただきました。歯学部の50年と学園100周年という節目の年を迎え、改めて大学や歯学部、それを支えてきた人たちの歴史を確認することができました」と大久保力廣歯学部部長は説明します。

**「感謝のこころ」をよりどころに
「患者本位」の姿勢を学ぶ**

鶴見大学歯学部は6000人近い歯科医師を医療の最前線に送り出し、「臨床の鶴見」と称されています。

患者に寄り添える優れた臨床医となるための本格的なトレーニングの場が、5年生から歯学部付属病院で行われる「診療参加型臨床実習」です。知識・実技試験を含む共用試験のパスした上で、学生自身が担当医（スチューデント・デンティス

ト）となり、治療計画の立案から検査、診療までを担います。試験のハードルが高いのはもちろんですが、学生に治療を委ねるには患者の理解と協力が不可欠なことから、学生に診療参加させる大学は多くありません。数々の難しさを承知で学生を現場に立たせることの意義について、大久保歯学部部長はこう力説します。

「実際に患者さんを担当するかしないかがすごく大きいのです。私たち指導する側にとって一番楽なのは見学実習なのです。治療を見学だけさせて後で口頭試問を課せばよいのなら、こちらも負担が少なくていいですし、学生も楽でしょう。しかし、それだと医療の現場で戦っていくのだから、少しずつ伸びていく。そうして2～3カ月、半年もたつと一人前の顔になってきます。その姿を見ると、臨床実習をやった良かったと感じますし、ご協力いただく患者さんにも感謝の気持ちを抱きますね」

「1年目の教育をととも重視しています。歯科医師になるために必要な資質とは何か、どんな勉強をしなればいけないか、あるいは自分自身が6年間をどう過ごすべきなのかなどについて、半年かけてみっちり教育します」（大久保歯学部部長）

ただ「教え込む」のではなく、AL（アクティブラーニング）の手法を用い、小グループを作って治療見学をしたり、歯科医療に関する情報をもとに学生同士の話し合いの中で答えを導かせるようにしています。

また、入学してすぐの5月には、總持寺に泊まり込んで坐禅を組み、僧侶から感謝することの大切さなどを学ぶ「新入生本山参禅会」（現在はコロナ対策で日帰り実施）を開いています。仏教系大学ならではのユニークな取り組みといえます。

「実際に患者さんを担当するかしないかがすごく大きいのです。私たち指導する側にとって一番楽なのは見学実習なのです。治療を見学だけさせて後で口頭試問を課せばよいのなら、こちらも負担が少なくていいですし、学生も楽でしょう。しかし、それだと医療の現場で戦っていくのだから、少しずつ伸びていく。そうして2～3カ月、半年もたつと一人前の顔になってきます。その姿を見ると、臨床実習をやった良かったと感じますし、ご協力いただく患者さんにも感謝の気持ちを抱きますね」

